

保土ヶ谷区民会議ニュース

やまびこ



編集 保土ヶ谷区民会議 広報委員会
 発行 第22期 保土ヶ谷区民会議
 事務局 〒240-0001
 横浜市保土ヶ谷区川辺町2-9
 保土ヶ谷区 区政推進課広報相談係内
 TEL 334-6223 FAX 333-7945
 平成29年7月15日発行

第22期保土ヶ谷区民会議が新体制で発足

平成29年4月22日(土)午後2時より第22期保土ヶ谷区民会議総会が、委員92名、相談役1名、行政から斎藤副区長を含む4名の参加で開催されました。

代表に小林由美子委員、副代表に平本勉委員、東小園正富委員、宮司弘昭委員の4名を含む新運営委員24名が承認され、第22期が正式に発足しました。

【テーマ】 未来へつなごう！人にやさしいまちづくり
 ～すきです 保土ヶ谷 マイタウン～

【活動方針】

第22期保土ヶ谷区民会議は、区民自身の手による区民のためのまちづくりの場として、区民の声を反映し、いつまでも住み続けたいまち 保土ヶ谷をめざし活動します。

第21期に締結した区役所との協働契約を遵守し、より一層強化されたパートナーシップのもと、区民と行政との協働による豊かなまちづくりを推進します。

- 1 区民会議の基本理念「広聴・提言・行動・発信」のもと、情報の収集・交換・共有を図り民主的な話し合いを通して行動・発信につなげ、活動を進めます。
- 2 区民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、区民、行政、連合町内会（自治会・町内会）や各種団体との連携を密にして「顔と顔の見える関係」を大切に、地域のさまざまな課題の解決をめざし活動を進めます。
- 3 「地域のつどい」「区民のつどい」を開催し、身近な視点での区民の生の声を収集し重要課題については、行政に提言・要望して区政に反映していただきます。
- 4 今期も各分科会（環境・教育・交通・災害・福祉）で専門分野別に活動し、その成果は区民や関係団体に発信するとともに、キャンペーンの実施や冊子の発行などを行い、行政に係わる問題については提言をまいります。

代表委員挨拶



日頃より区民の皆さまには、保土ヶ谷区民会議の活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

この度、上記のテーマ・活動方針を掲げ、総勢110名の委員の下、保土ヶ谷区民会議第22期がスタートいたしました。

テーマは、前期からの継続となりますが、

今期は、分科会が1つ増え5分科会となりました。昨年12月に締結しました、保土ヶ谷区役所との「協働契約」も今期から実質的に施行されます。これまで以上に、様々な地域ニーズに対応するマクロにもミクロにも自在に動ける視点を持ち、「いつまでも住み続けたいまち 保土ヶ谷」の実現へ向けて活動を推進してまいります。

区民会議だからできること、区民会議でしかできないこと、自分たちの使命をしっかりと捉え、これからも区民の皆さまにとって必要とされる存在＝区民会議であり続けたいと考えます。今後とも、皆さまのご支援・ご協力よろしくお願いたします。

保土ヶ谷区民会議代表委員 小林 由美子

区長挨拶



第22期保土ヶ谷区民会議の発足、おめでとうございます。皆様には、日頃から住みやすいまちづくりの実現に向け、区民の皆様と行政とをつなぐ重要な役割としてお力を発揮していただき、心より感謝申し上げます。

また、今期は110名の方が委員として参加されており、「地域のつどい」や分科会の活動等をさらに活発に行っていただくとともに、昨年締結した協働契約を踏まえ、区民会議と行政とで、地域の課題解決に向けた取組をより一層推進できることを期待しています。

今年保土ヶ谷区が誕生して90年を迎える節目の年となります。この節目となる年をともに祝いするため、皆様の御協力を賜りますよう、引き続きよろしくお願いたします。

保土ヶ谷区長 菅井 忠彦

今年度の主な活動の紹介

◎テーマ及び活動計画

環境分科会

環境分科会は、新委員 10 名と前委員 16 名の、26 名でスタートしました。

テーマは「未来へつなごう水・緑・資源」とし、サブテーマは「自然環境・ゴミ問題・エコ問題」です。6月には「温暖化対策取組」について7月には「ヨコハマ3R 夢（スリム）プランの取組」について、保土ヶ谷区役所区政推進課竹内係長、地域振興課畑係長を講師として、勉強会を計画しました。都市ガス会社の工場見学会も検討します。

また、「保土ヶ谷区一人からできるエコ活動」の事例集を活用して、啓発運動を進めていきます。



教育分科会

テーマ「笑顔であいさつ 思いやりの心を育もう！」

1 保土ヶ谷区制 90 周年記念事業 愛称募集

「相鉄星川駅～区役所の小道に愛称を！」(ほどがや区版 8 月号掲載)

(11 月 4 日の「区民のつどい」にて最優秀作品の表彰式を予定)

2 「あいさつ運動」の継続。(第 13 期からの継続活動)

3 「家族の絆」「親子のコミュニケーション」に視点を置いた活動。

上記 3 点を柱として、22 名の分科会委員でチームワーク良く活動していきます。また、教育現場の見学等も実施します。



交通分科会

第 21 期までの交通・災害分科会が分かれて誕生した交通分科会です。第 22 期の分科会のテーマは「安全な道路交通をめざして」と決まり、交通・災害分科会の交通分野で従来から取り組んできた自転車の問題を引き継ぐとともに、歩行者の問題などを含めて、安全な道路交通を実現するために活動します。その具体的な取り組みとして地域と連携した「モデル地区の設定」を考えており、何処で、どのような内容で、何時実施するかを検討を始めています。



災害分科会

(1)HUG（避難所運営ゲーム）を分科会メンバーが受講し、HUG・DIG（災害図上訓練）の出前講習会を実施します。(2)家具転倒防止対策の地域への普及、啓発のために「家具転倒防止対策講習会」を開催します。また区民会議作成の「家具転倒防止対策について」冊子の印刷・配布を進めます。(3)保土ヶ谷区災害対策連絡協議会 広報啓発運動部と連携し、「20 万区民の自助・共助 減災運動」をさらに推進します。



福祉分科会

第 22 期福祉分科会のテーマは、「学び 考え 発信する福祉分科会」に決定し、33 名（新規：11 名、継続：22 名）でスタートしました。21 期は「高齢者・障がい者の福祉」について学習。特にマスコミでも注目された『視覚障がい者のホーム転落事故』から自分たちに何が出来るのかを考え、声掛けの重要性をアピールしました。今期も多彩なメンバーで、継続課題である介護制度の学習等を通じて、行政と地域とのパイプ役として区民の皆様の声を行政へ届けていきます。



〈広報委員会〉 広報委員会の主な活動と委員（右写真参照）を紹介します。

◎区民会議ニュース【やまびこ】の編集・発行

区民の皆さまへ区民会議の活動内容についてお知らせし、ご理解とご支援をいただき、また、皆さまの声を反映させた「行政への提案・要望と回答」等は、自治会・町内会を通して回覧いただいています。

◎区民会議ホームページでも「地域のつどい」や「区民のつどい」等の情報は随時発信して参ります。

第 22 期もよろしくお願い致します。

